



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 株式会社エディオン 上場取引所 東 名

コード番号 2730 URL https://www.edion.com/

代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)久保 允誉

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 小谷野 薫 TEL 06-6202-6048

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		七上高		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	334, 713	0.4	9, 260	△6.3	9, 603	△9.0	6, 278	△4. 4
29年3月期第2四半期	333, 494	Δ1.8	9, 887	15. 6	10, 555	20. 9	6, 570	15. 7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 6,362百万円 (△2.1%) 29年3月期第2四半期 6,500百万円 (15.3%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	65. 60	50. 33
29年3月期第2四半期	66. 55	51. 48

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	368, 439	154, 046	41.8	1, 622. 62
29年3月期	368, 177	151, 512	41.2	1, 558. 86

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 154,046百万円 29年3月期 151,512百万円

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円銭	円銭	円銭	円銭			
29年3月期	_	11.00	_	15. 00	26. 00			
30年3月期	_	13. 00						
30年3月期(予想)			-	13. 00	26. 00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株芸		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	700, 000	3. 8	18, 000	17. 8	18, 500	15. 6	10, 000	△23.8	104. 88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無 新規 一社 (社名) - 、除外 一社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
① ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期2Q	112,005,636株	29年3月期	112,005,636株
30年3月期2Q	17, 068, 895株	29年3月期	14, 810, 857株
30年3月期2Q	95, 707, 136株	29年3月期2Q	98, 729, 501株

- ※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1)四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなどによって緩やかな回復基調で推移したものの、米国の政策動向や北朝鮮等の地政学的リスクなどによる世界経済の不確実性のもとで、先行き不透明な状況が続きました。

当家電小売業界におきましては、高付加価値商品を中心に、洗濯機、クリーナーなどが好調に推移いたしました。また、テレビにつきましても、有機ELを含め4Kの構成比が継続して伸長しており、好調に推移いたしました。そのほか、西日本においては気温の高い日が続いたこともあって、エアコンも好調に推移いたしました。

こうした中で当企業グループにおきましては、成長の柱として積極的に取り組んでいる e コマース事業の更なる 強化を図るため、文具・日用品の e コマースサイトを運営するフォーレスト株式会社を子会社化いたしました。こ の子会社化により、フォーレスト株式会社が保有する幅広い商品分野の取り扱いと、効率的に運用されている倉庫 運営ノウハウ等を共有することによって、 e コマース事業の更なる売上拡大を図ってまいります。今後も「お客様 の豊かな暮らしを永続的に支える企業」として、様々な施策を行ってまいります。

店舗展開につきましては、家電直営店は、「エディオンいせはらcoma店(神奈川県)」「エディオン蔦屋家電(広島県)」「100満ボルト東苗穂店(北海道)」など6店舗を新設し、2店舗を閉鎖いたしました。また、グループ販売ネットワークの効率化の観点から、「100満ボルト養父店(兵庫県)」「100満ボルト舞鶴店(京都府)」を「エディオン養父店」「エディオン舞鶴店」としてリニューアルオープンいたしました。そのほか、非家電直営店につきましては、1店舗を新設し、5店舗を閉鎖いたしました。フランチャイズ店舗につきましては、1店舗の純増加となりました。これにより、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、フランチャイズ店舗762店舗を含めて、1,186店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,347億13百万円(前年同四半期比100.4%)、営業利益は92億60百万円(前年同四半期比93.7%)、経常利益は96億3百万円(前年同四半期比91.0%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は62億78百万円(前年同四半期比95.6%)となりました。

営業店舗の状況

	前期末	増加	減少	差引	当期末
直営店	424 店	7 店	7 店	±0 店	424 店
FC店	761 店	6 店	5 店	1 店	762 店
合計	1,185 店	13 店	12 店	1 店	1,186 店
直営店売場面積	1, 019, 475 m ²	22, 239 m²	17, 982 m²	4, 257 m ²	1, 023, 732 m²

[※]直営店売場面積の増加・減少には、移転・建替・改装等による増加・減少が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産に関する分析

総資産は、前連結会計年度末と比較し2億62百万円増加し、3,684億39百万円となりました。これは現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少等により流動資産の減少が16億40百万円あったものの、フォーレスト株式会社の子会社化に伴うのれんの増加等により固定資産の増加が19億2百万円あったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較し22億71百万円減少し、2,143億92百万円となりました。これは短期借入金の増加等により流動負債の増加が54億98百万円あったことと、長期借入金の減少等により固定負債の減少が77億69百万円あったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し25億33百万円増加し、1,540億46百万円となりました。これは利益剰余金の増加が47億87百万円、自己株式取得による減少が23億70百万円あったこと等によるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、資金という)は、前連結会計年度末と比較し15億1百万円減少し、84億25百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、130億87百万円(前年同四半期に得られた資金は118億51百万円)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が93億47百万円、減価償却費が47億26百万円、売上債権の減少による資金の増加が57億97百万円、たな卸資産の増加による資金の減少が58億23百万円、前受金の減少による資金の減少が33億97百万円、法人税等の支払額が20億52百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、93億63百万円(前年同四半期に使用した資金は54億95百万円)となりました。 これは、有形固定資産の取得による支出が51億68百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が 20億78百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、52億25百万円(前年同四半期に使用した資金は114億35百万円)となりました。これは、短期借入金の純増加額が110億円、長期借入れによる収入が80億円、長期借入金の返済による支出が204億53百万円、自己株式の取得による支出が23億70百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績は、夏場の猛暑はあったものの、天候不順もあり、売上高につきましてはやや低調に推移いたしました。一方、利益につきましては、高付加価値商品の販売が好調であり、また、経費削減にも努めたことから想定を上回った進捗となっております。平成30年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績と第3四半期以降の経営環境やフォーレスト株式会社の買収効果等を勘案し、平成29年5月9日付で公表いたしました通期連結業績予想の数値を以下のとおり修正いたします。

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正

(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	700, 000	16, 000	16, 500	9,000	92円91銭
今回修正予想(B)	700, 000	18, 000	18, 500	10, 000	104円88銭
増減額(B-A)	_	2,000	2,000	1,000	
増減率 (%)	_	12. 5	12. 1	11.1	
(ご参考) 前期通期実績 (平成29年3月期)	674, 426	15, 273	16, 005	13, 118	133円04銭

⁽注)上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績 は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9, 927	8, 425
受取手形及び売掛金	33, 258	28, 614
商品及び製品	105, 777	112, 571
その他	19, 111	16, 836
貸倒引当金	△93	△108
流動資産合計	167, 981	166, 340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	60, 131	62, 843
工具、器具及び備品(純額)	5, 040	6, 104
土地	71,867	72, 478
リース資産 (純額)	1,097	1, 043
その他(純額)	7,030	2, 589
有形固定資産合計	145, 166	145, 059
無形固定資産		
のれん	_	2, 131
その他	6, 158	5, 848
無形固定資産合計	6, 158	7, 980
投資その他の資産		
差入保証金	26, 180	26, 317
その他	23, 015	23, 111
貸倒引当金	△324	△371
投資その他の資産合計	48, 870	49, 058
固定資産合計	200, 196	202, 099
資産合計	368, 177	368, 439

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44, 803	44, 594
短期借入金	_	11,050
1年内返済予定の長期借入金	22, 420	17, 938
リース債務	129	119
未払法人税等	2,762	4, 067
賞与引当金	4, 576	4, 990
ポイント引当金	8, 534	9, 597
その他	24, 439	20, 805
流動負債合計	107, 665	113, 163
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	30, 060	30, 052
長期借入金	43,675	35, 847
リース債務	1,647	1, 596
再評価に係る繰延税金負債	1,708	1, 708
商品保証引当金	8,658	8, 901
退職給付に係る負債	9, 217	9, 151
資産除去債務	7, 342	7, 552
その他	6, 689	6, 418
固定負債合計	108, 998	101, 228
負債合計	216, 664	214, 392
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,940	11, 940
資本剰余金	84, 320	84, 320
利益剰余金	74, 689	79, 476
自己株式	△12,083	△14, 454
株主資本合計	158, 866	161, 282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	379	382
土地再評価差額金	△6, 366	△6, 333
退職給付に係る調整累計額	△1,365	△1, 285
その他の包括利益累計額合計	<u></u>	△7, 236
純資産合計	151, 512	154, 046
負債純資産合計	368, 177	368, 439

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

売上高333,494売上原価234,719売上総利益98,775販売費及び一般管理費88,887営業利益9,887営業外収益61持分法による投資利益341その他664営業外収益合計1,067営業外費用285その他113営業外費用合計399	累計期間 月 1 日 月30日)
売上総利益98,775販売費及び一般管理費88,887営業利益9,887営業外収益61受取利息及び配当金61持分法による投資利益341その他664営業外収益合計1,067営業外費用285支払利息285その他113	334, 713
販売費及び一般管理費88,887営業利益9,887営業外収益61持分法による投資利益341その他664営業外収益合計1,067営業外費用支払利息285その他113	235, 340
営業利益9,887営業外収益61受取利息及び配当金61持分法による投資利益341その他664営業外収益合計1,067営業外費用285支払利息285その他113	99, 373
営業外収益61受取利息及び配当金61持分法による投資利益341その他664営業外収益合計1,067営業外費用285支払利息285その他113	90, 112
受取利息及び配当金61持分法による投資利益341その他664営業外収益合計1,067営業外費用285支払利息285その他113	9, 260
持分法による投資利益341その他664営業外収益合計1,067営業外費用285支払利息285その他113	
その他664営業外収益合計1,067営業外費用285その他113	54
営業外収益合計1,067営業外費用285その他113	148
営業外費用285支払利息285その他113	497
支払利息285その他113	699
その他 113	
	243
営業外費用合計 399	113
	356
経常利益 10,555	9,603
特別利益	
固定資産売却益 2	50
投資有価証券売却益 4	_
違約金収入 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	219
その他0	22
特別利益合計	292
特別損失	
固定資産売却損 225	238
固定資産除却損 426	282
減損損失 121	16
賃貸借契約解約損 327	6
その他 146	5
特別損失合計 1,247 1,247	548
税金等調整前四半期純利益 9,315	9, 347
法人税、住民税及び事業税 2,909	3, 344
法人税等調整額	$\triangle 275$
法人税等合計 2,753	3, 068
四半期純利益 6,561	6, 278
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△) △8	
親会社株主に帰属する四半期純利益 6,570 6,570	6, 278

(四半期連結包括利益計算書) (第2四半期連結累計期間)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	6, 561	6, 278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	3
土地再評価差額金	$\triangle 142$	_
退職給付に係る調整額	59	79
その他の包括利益合計	△61	83
四半期包括利益	6, 500	6, 362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6, 508	6, 362
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	_

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9, 315	9, 347
減価償却費	4, 363	4, 726
減損損失	121	16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	$\triangle 10$
賞与引当金の増減額(△は減少)	229	402
受取利息及び受取配当金	△61	△54
支払利息	285	243
持分法による投資損益(△は益)	△341	△148
売上債権の増減額(△は増加)	4,876	5, 797
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3, 666	△5, 823
仕入債務の増減額(△は減少)	3, 205	$\triangle 1,357$
前受金の増減額(△は減少)	$\triangle 2,943$	△3, 397
その他	1, 498	5, 395
小計	16, 889	15, 136
利息及び配当金の受取額	28	23
利息の支払額	△259	△230
助成金の受取額	7	25
法人税等の還付額	212	184
法人税等の支払額	△5, 028	$\triangle 2,052$
営業活動によるキャッシュ・フロー	11, 851	13, 087
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	$\triangle 4,779$	$\triangle 5, 168$
有形固定資産の売却による収入	215	227
無形固定資産の取得による支出	△970	△891
投資有価証券の売却による収入	131	_
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	_	△2, 078
その他	$\triangle 92$	$\triangle 1,452$
投資活動によるキャッシュ・フロー	$\triangle 5,495$	△9, 363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,000	11,000
長期借入れによる収入	3,000	8,000
長期借入金の返済による支出	△18, 175	$\triangle 20,453$
自己株式の取得による支出	$\triangle 0$	$\triangle 2,370$
配当金の支払額	△1, 180	$\triangle 1,324$
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得に よる支出	△17	-
その他	$\triangle 61$	△77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11, 435	△5, 225
現金及び現金同等物に係る換算差額	<u>∠11, 100</u>	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5, 079	△1, 501
現金及び現金同等物の期首残高	12, 246	9, 927
現金及び現金同等物の四半期末残高	7, 166	8, 425
元亚及() 汽亚川 守彻 20 四 十 别 个 25 回	1, 100	0, 425

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年3月8日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式356,100株の取得を行ないました。また、平成29年5月22日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,901,200株の取得を行ないました。この結果等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,370百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末において自己株式が14,454百万円となっております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

当企業グループの事業セグメントは、家庭電化商品等の販売及びその他の事業でありますが、その他の事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当企業グループの事業セグメントは、家庭電化商品等の販売及びその他の事業でありますが、その他の事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント別の販売実績の記載は行っておりません。参考情報として商品分類別売上高を記載しております。

商品分類別売上高

			ı		1
区分	(自 平成28年			当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	
	金額 (百万円)	構成比(%)	金額 (百万円)	構成比(%)	(%)
家電					
テレビ	20, 213	6. 1	20, 979	6. 3	103. 8
ビデオ・カメラ	13, 871	4. 2	12, 942	3.9	93. 3
オーディオ	7, 211	2. 2	6, 269	1.9	86. 9
冷蔵庫	30, 193	9.0	29, 930	8.9	99. 1
洗濯機・クリーナー	31,712	9. 5	32, 761	9.8	103. 3
電子レンジ・調理家電	16, 897	5. 1	16, 123	4.8	95. 4
理美容・健康器具	13, 300	4.0	13, 090	3.9	98. 4
照明器具	3, 813	1. 1	3, 562	1. 1	93. 4
エアコン	45, 461	13.6	47, 995	14. 3	105. 6
その他空調機器	6, 746	2.0	6, 855	2.0	101.6
その他	9, 038	2.7	8, 990	2.7	99. 5
小計	198, 459	59. 5	199, 502	59. 6	100.5
情報家電					
パソコン	19, 116	5. 7	18, 589	5. 6	97. 2
パソコン関連商品	18, 675	5. 6	18, 244	5. 4	97.7
携帯電話	25, 927	7.8	25, 163	7. 5	97. 1
その他	7,700	2.3	8, 004	2.4	103. 9
小計	71, 419	21. 4	70, 002	20.9	98. 0
その他					
ゲーム・玩具	8, 311	2.5	10, 635	3. 2	128. 0
音響ソフト・楽器	2, 065	0.6	1, 817	0.5	88. 0
住宅設備	19, 649	5. 9	19, 026	5. 7	96. 8
家電修理・工事収入	15, 468	4.6	16, 302	4. 9	105. 4
その他	18, 121	5. 5	17, 427	5. 2	96. 2
小計	63, 615	19. 1	65, 209	19. 5	102. 5
合計	333, 494	100.0	334, 713	100.0	100. 4

⁽注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。